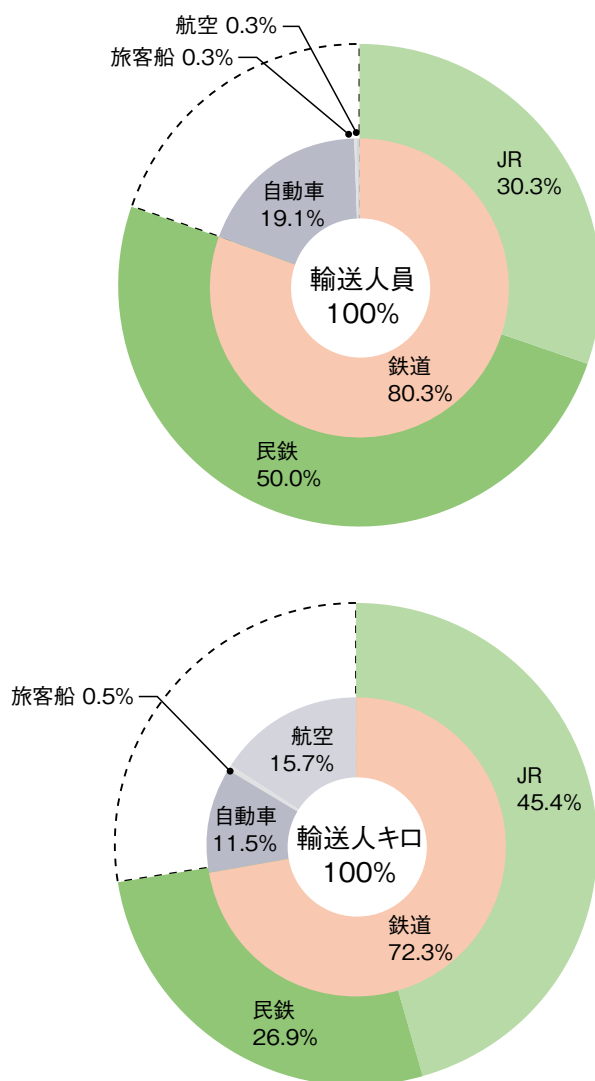


# 3 交通機関として民鉄が担う役割

## 3-(1) 旅客の公共輸送機関別分担率

2018年度の国内旅客輸送における民鉄の輸送分担率は輸送人員ベースで50.0%、輸送人キロベースで26.9%を占めています。環境保護やエネルギー効率などの面から、公共交通機関の利用促進が求められているなか、民鉄が旅客輸送の重責を担っていることが読み取れます。

旅客の公共輸送機関別分担率(2018年度)



(注)円グラフの割合は、四捨五入のため、合計は必ずしも100%にならない。

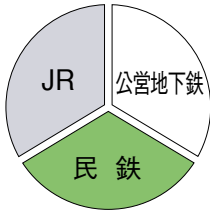
資料:国土交通省「数字でみる鉄道2020」

### 3-(2) 民鉄の輸送人員の割合(三大都市圏)

東京・名古屋・大阪を中心とする三大都市圏の鉄軌道の年間輸送人員(2014年度)は約207億2,670万人(1日平均約5,678万人)で、そのうち民鉄の占める割合は、首都交通圏で37.6%、中京交通圏で40.5%、京阪神交通圏で46.1%となっており、大都市圏の基幹的な交通機関として、大きな役割を担っています。

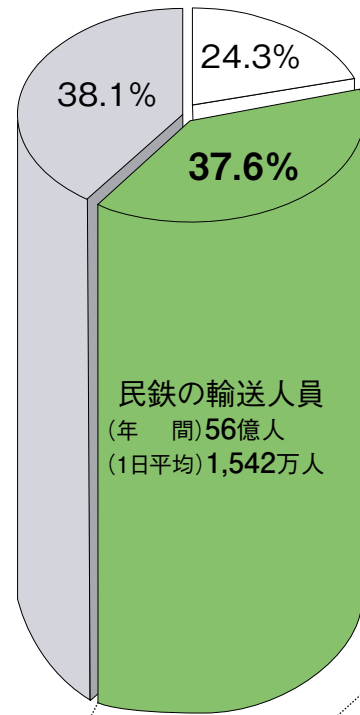
三大都市交通圏の交通機関別鉄軌道輸送人員の割合(2014年度)

■凡例



首都交通圏の輸送人員

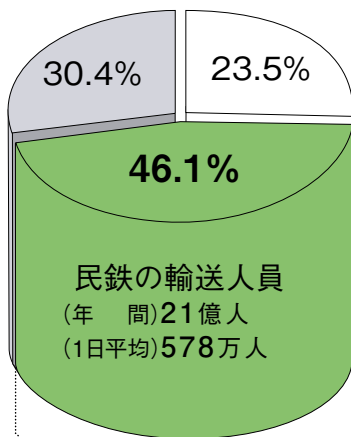
(年間)149.7億人  
(1日平均)4,102万人



民鉄の輸送人員  
(年間)56億人  
(1日平均)1,542万人

京阪神交通圏の輸送人員

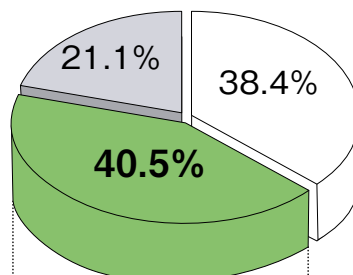
(年間)45.7億人  
(1日平均)1,254万人



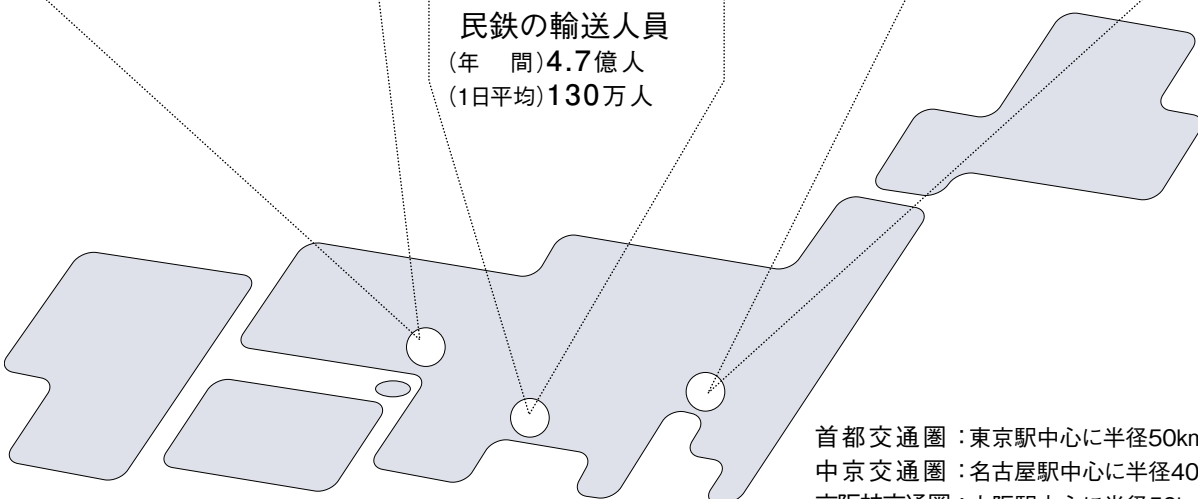
民鉄の輸送人員  
(年間)21億人  
(1日平均)578万人

中京交通圏の輸送人員

(年間)11.7億人  
(1日平均)322万人



民鉄の輸送人員  
(年間)4.7億人  
(1日平均)130万人



首都交通圏：東京駅中心に半径50km  
中京交通圏：名古屋駅中心に半径40km  
京阪神交通圏：大阪駅中心に半径50km  
・但し、特に交通不便な地域およびその大半が圏外にある行政区域は除外  
・新幹線を除く

資料：一財)運輸総合研究所  
[平成28年版 都市・地域交通年報]

(注)円グラフの割合は年間の人員による。  
四捨五入のため、合計は必ずしも100%にならない。  
東京メトロは公営地下鉄に含む。